

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2022年 7月 29日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県蒲生郡竜王町大字鏡2293番地

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
エイエフティー株式会社
代表取締役社長 三舟 滋治

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更)]
[事業者行動報告書を作成]
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	エイエフティー株式会社 代表取締役社長 三舟 滋治
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県蒲生郡竜王町大字鏡2293番地

1 事業者の概要

事業所の名称	エイエフティー株式会社					
事業所の所在地	滋賀県蒲生郡竜王町大字鏡2293番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	自動車部品・付属品製造業
事業の概要	自動車の樹脂製バックドアの生産					
従業員の数	433	人	作業時間	16	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	11	台
	コンプレッサ	12	台	空気調和設備	15	台
				照明設備	400	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2026	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

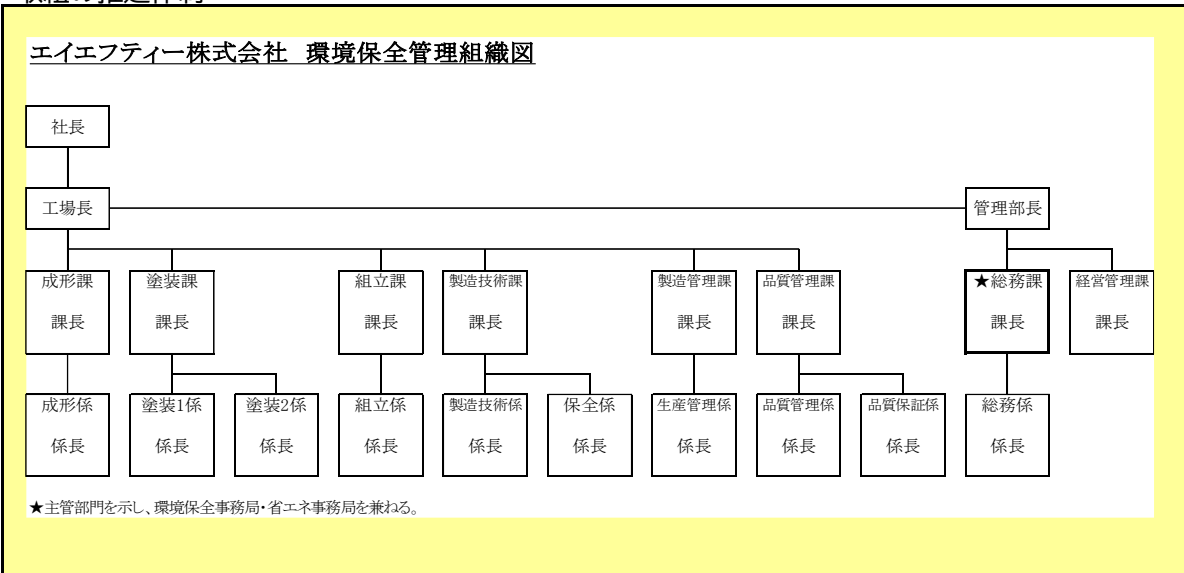
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

エイエフティー株式会社は、2013年4月よりバックドア・フェンダー・リッド・フードなどの樹脂製自動車用部品を生産しております。
 樹脂製部品は鉄製品と比較して軽量であるため、自動車の軽量化が可能となります。
 自動車を軽量化することで、エンジン負荷を抑制し、燃費が向上いたします。
 結果、ガソリン消費量が減少し、環境汚染物質やCO₂の削減につながります。
 弊社における生産活動だけでなく、上記のように製品を通じて環境に貢献しております。

また、主要取引先であるダイハツ工業株式会社様のご支援を賜りながら、カーボンニュートラル及びCO₂ネットゼロに向けた取組みを進めてまいります。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

1. 高効率変圧器の導入(1000KVA1台)
2. 天井照明のLED化
3. 廃液水凝集処理の改善による償却廃棄物の低減
4. ボイラー蒸気配管の保温化
5. 3000t成形機油圧式→電動式の導入
6. 空調機(2002年式)更新による省エネ
7. 液化石油ガス(LPG)より都市ガスに変更
8. 食堂、製造技術、組合事務所のGHPエアコンを電気式エアコンに更新
9. 遮熱塗料施工で夏場の室温上昇を抑制し、エアコンの効率を上げる

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	工場照明LED化	2022~2026	
2	運用改善	成形工程の条件見直し 【温度・チー停止・附帯設備省エネ化等】	2022~2026	
3	運用改善	塗装工程の条件見直し 【乾燥炉効率化・附帯設備省エネ化等】	2022~2026	
4	運用改善	組立工程の条件見直し 【乾燥炉効率化・附帯設備省エネ化等】	2022~2026	
5	運用改善	厚生棟など 【附帯設備省エネ化等】	2022~2026	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方			目標の進捗に対する自己評価	
2019年度を基準年として、総排出量を「2%/年」削減する。				
	【CO2排出量(t)】	【原単位(台当たり)】		
2019年度(基準年)	8,287t-CO2	7.05kg-co2/台		
2022年度(計画)	8,121t-CO2	6.91kg-co2/台		
2023年度(計画)	7,956t-CO2	6.77kg-co2/台		
2024年度(計画)	7,790t-CO2	6.63kg-co2/台		
2025年度(計画)	7,624t-CO2	6.49kg-co2/台		

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	5,182					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	8,149	0	0	0	0	0
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	8,149					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		7.60					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					